

<為替ヘッジあり>

第1期末 (2024年7月25日)	
基準価額	10,250円
純資産総額	125百万円
騰落率	2.5%
分配金	0円

<為替ヘッジなし>

第1期末 (2024年7月25日)	
基準価額	10,147円
純資産総額	112百万円
騰落率	1.5%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

<購入・換金手数料なし>
ニッセイゴールドファンド
(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

追加型投信/内外/その他資産 (商品)

運用報告書(全体版)

作成対象期間:2024年4月30日~2024年7月25日

第1期(決算日 2024年7月25日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「<購入・換金手数料なし>ニッセイゴールドファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)」は、このたび第1期の決算を行いました。

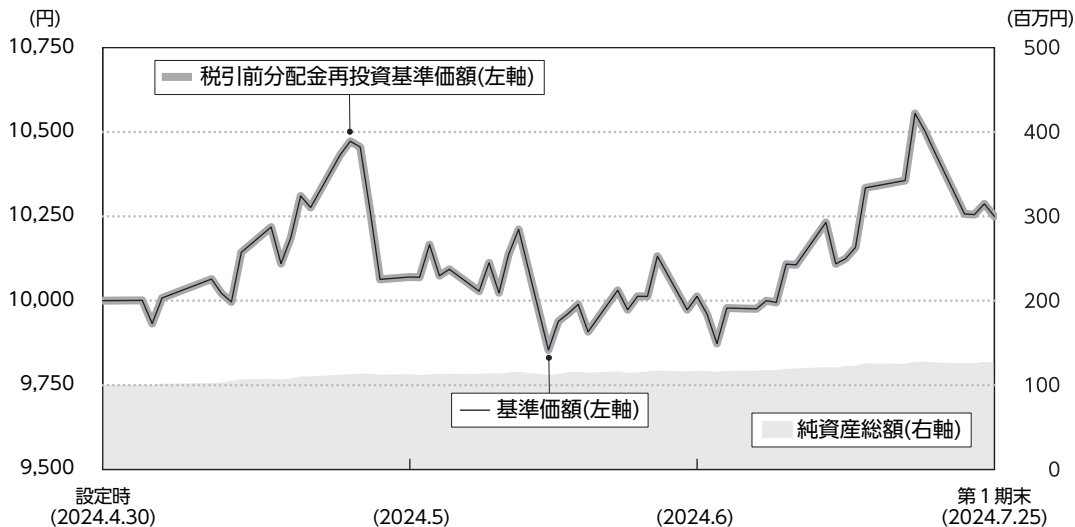
各ファンドは、「ニッセイゴールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、金価格への運動をめざす上場投資信託証券 (ETF) 等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2024年4月30日～2024年7月25日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	10,250円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・4月の米消費者物価指数（CPI）の上昇率が前月比で鈍化し、米国の利下げ期待が高まったことから5月に金価格が上昇したこと
- ・6月のCPIが前月比で予想外に下落したことから米国の利下げ期待が高まったことや、トランプ前米大統領への襲撃事件が発生し米政治の先行き不安が強まり、7月に金価格が上昇したこと

<下落要因>

- ・5月の米雇用統計が市場予想を大きく上回り、米国の利下げ期待が後退したことを受けて6月に金価格が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	7円	0.065%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は10,127円です。</p>
(投信会社)	(3)	(0.030)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(3)	(0.030)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.005)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	9	0.091	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(9)	(0.091)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.012	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(0)	(0.000)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.012)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	17	0.168	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

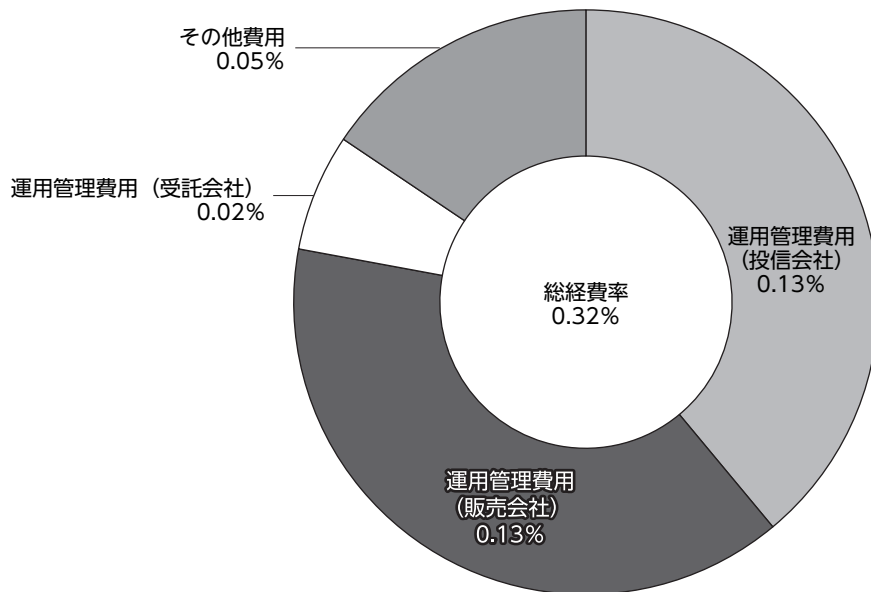
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.32%**です。



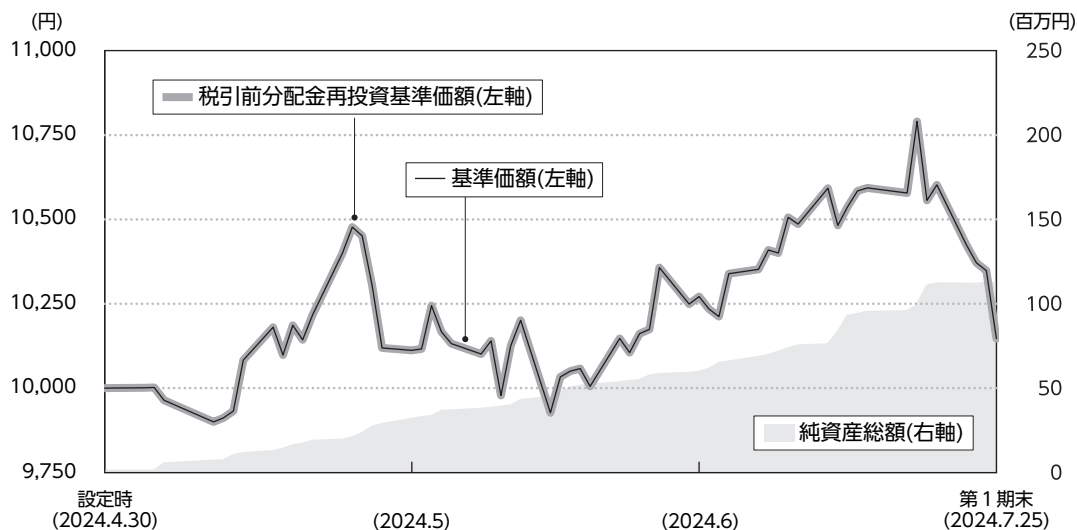
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	10,147円	騰落率 (分配金再投資ベース)	1.5%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 4月の米CPIの上昇率が前月比で鈍化し、米国の利下げ期待が高まったことから5月に金価格が上昇したこと
- ・ 日銀が金融政策決定会合で利上げを実施しなかったことや国債買い入れ額の減額幅の決定を先送りしたため、日米金利差の拡大した状態が継続するとの期待感から6月に円安が進んだこと

<下落要因>

- ・ 5月の米雇用統計が市場予想を大きく上回り、米国の利下げ期待が後退したことを受けて6月に金価格が下落したこと
- ・ 6月の米CPIが前月比で予想外に下落し、米国の利下げ期待が高まったことから日米金利差の縮小が意識され、7月に円高が進んだこと

1万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	7円	0.065%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は10,246円です。</p>
(投信会社)	(3)	(0.030)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(3)	(0.030)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(1)	(0.005)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	13	0.131	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	(13)	(0.131)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.008	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	(0)	(0.000)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(1)	(0.008)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	21	0.204	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

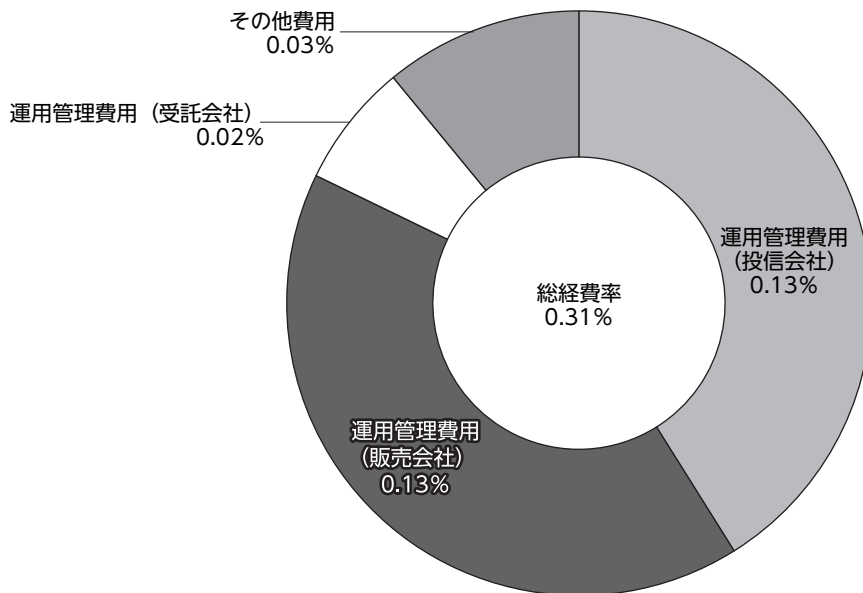
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.31%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

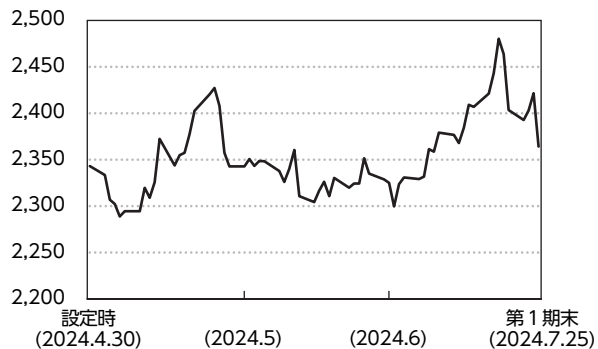
(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

投資環境

■金市況

【金価格（米ドルベース）の推移】



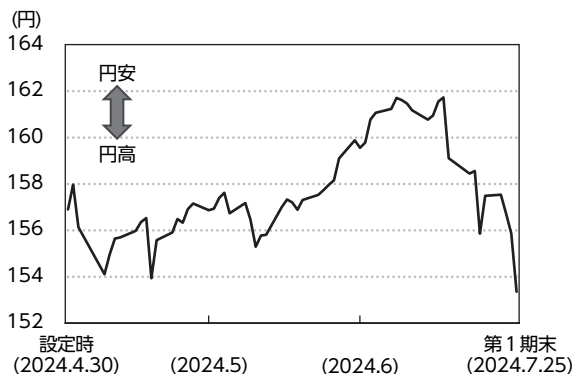
(注) 金価格（米ドルベース）はLBMA Gold Price PM USDであり、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

5月初から中旬にかけては米国の利下げ期待を背景に米ドル安となったことから、金価格は上昇しましたが、期半ばは米雇用統計等の経済指標が市場予想を上回る結果となり、米国の早期利下げ期待が後退したため下落に転じました。当期末にかけては、中国が金保有の積み増しを控えるとの報道や米連邦準備制度理事会（FRB）議長の利下げに慎重な姿勢により一時下落しましたが、米CPIが予想外に下落したことや米金利の低下、加えて米ドル安進行で再び米国の利下げ期待が高まったことから金価格は上昇しました。

■為替市況

【米ドル／円レートの推移】



(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当期の米ドル／円レートは米ドル安円高となりました。

設定直後は政府・日銀の為替介入とみられる円買いの動きにより、米ドル安円高が進みました。期半ばは日銀が金融政策決定会合で利上げを実施しなかったことなどをを受け、日米金利差の拡大した状態が継続するとの見方から米ドル高円安基調で推移しました。当期末にかけては米CPIが予想外に下落し、米国の利下げ期待が高まったことから日米金利差の縮小が意識され、米ドル安円高が進みました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました。なお《為替ヘッジあり》については、実質組入外貨建資産において、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

■マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジなし

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざすE T F等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■ 為替ヘッジあり

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年4月30日～2024年7月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	249円

■ 為替ヘッジなし

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年4月30日～2024年7月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	147円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。なお「為替ヘッジあり」については、実質組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

■マザーファンド

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

ファンドデータ

<購入・換金手数料なし>ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジあり）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第1期末 2024年7月25日
ニッセイゴールドマザーファンド	96.6%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

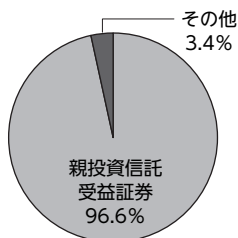
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

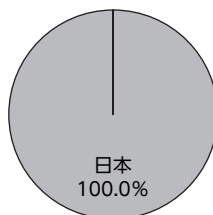
項目	第1期末 2024年7月25日
純資産総額	125,417,110円
受益権総口数	122,360,698口
1万口当たり基準価額	10,250円

(注) 当期間中における追加設定元本額は27,833,835円、同解約元本額は4,473,137円です。

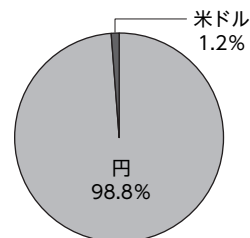
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年7月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。

<購入・換金手数料なし>ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第1期末 2024年7月25日
ニッセイゴールドマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

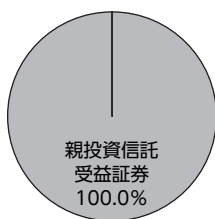
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

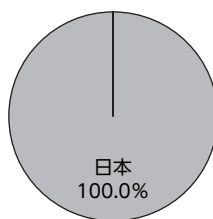
項目	第1期末 2024年7月25日
純資産総額	112,219,837円
受益権総口数	110,593,684口
1万口当たり基準価額	10,147円

(注) 当期間中における追加設定元本額は113,945,024円、同解約元本額は4,351,340円です。

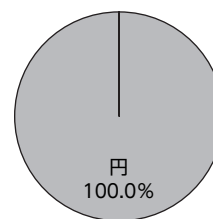
■ 資産別配分



■ 国別配分



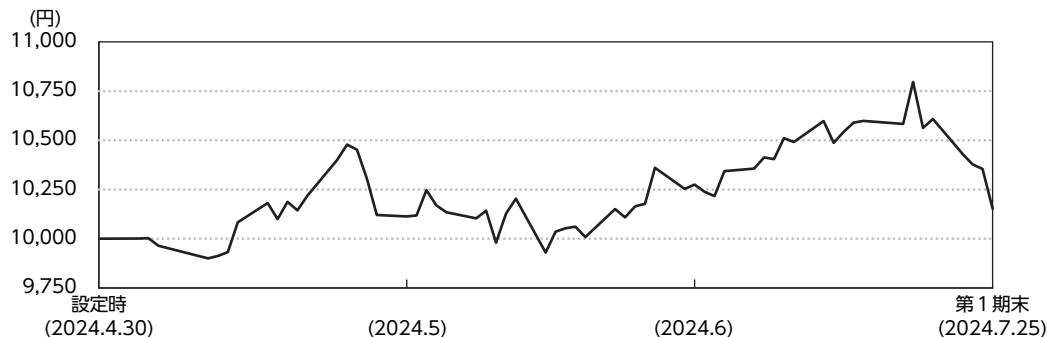
■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年7月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイゴールドマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

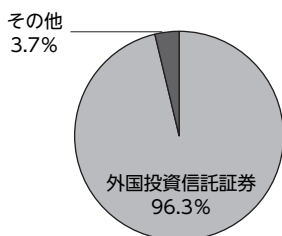
銘柄名	通貨	比率
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	米ドル	96.3%
組入銘柄数	1	

■ 1万口当たりの費用明細

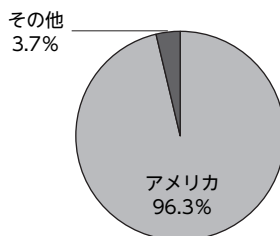
2024.4.30~2024.7.25

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	10円 (10)
その他費用 (その他)	1 (1)
合計	11

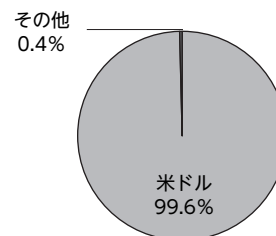
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2024年7月25日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
				基準価額＋ 累計分配金		
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2024年4月30日	10,000	-	-	10,000	-	99
1期(2024年7月25日)	10,250	0	2.5	10,250	93.0	125

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
			%
(設定日)2024年4月30日	10,000	-	-
5月末	10,093	0.9	98.4
6月末	9,978	△0.2	100.5
(期 末)2024年7月25日	10,250	2.5	93.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年4月30日～2024年7月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	126,901	127,620	7,570	7,804

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年4月30日～2024年7月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年7月25日現在

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	119,330	121,156

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイゴールドマザーファンド全体の口数は229,860千口です。

投資信託財産の構成

2024年7月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイゴールドマザーファンド	121,156	96.5
コール・ローン等、その他	4,335	3.5
投資信託財産総額	125,492	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル153.36円です。

(注2) ニッセイゴールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（232,504千円）の投資信託財産総額（234,549千円）に対する比率は99.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	254,886,849円
コール・ローン等	70,781
ニッセイゴールドマザーファンド（評価額）	121,156,703
未収入金	133,659,365
(B) 負債	129,469,739
未払金	129,394,642
未払解約金	1,485
未払信託報酬	73,356
その他未払費用	256
(C) 純資産総額 (A - B)	125,417,110
元本	122,360,698
次期繰越損益金	3,056,412
(D) 受益権総口数	122,360,698口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,250円

(注) 設定元本額 99,000,000円
 期中追加設定元本額 27,833,835円
 期中一部解約元本額 4,473,137円

損益の状況

当期 (2024年4月30日～2024年7月25日)

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	2,719,723円
売 買 益	6,078,314
売 買 損	△ 3,358,591
(B) 信託報酬等	△ 81,312
(C) 当期損益金 (A + B)	2,638,411
(D) 追加信託差損益金*	418,001
(売 買 損 益 相 当 額)	(418,001)
(E) 合計 (C + D)	3,056,412
次期繰越損益金 (E)	3,056,412
追加信託差損益金	418,001
(売 買 損 益 相 当 額)	(418,001)
分配準備積立金	2,638,411

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,638,411円
(c) 信託約款に定める収益調整金	418,001円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	3,056,412円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	249.79円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
				基準価額＋ 累計分配金		
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2024年4月30日	10,000	－	－	10,000	－	1
1期(2024年7月25日)	10,147	0	1.5	10,147	96.3	112

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託証券 組入比率
	円		%	%
(設定日)2024年4月30日	10,000		－	－
5月末	10,132		1.3	97.7
6月末	10,339		3.4	97.9
(期 末)2024年7月25日	10,147		1.5	96.3

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

＜購入・換金手数料なし＞ニッセイゴールドファンド（為替ヘッジなし）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2024年4月30日～2024年7月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	114,909	118,762	4,380	4,507

(注) 単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2024年4月30日～2024年7月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年7月25日現在

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイゴールドマザーファンド	110,529	112,220

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるニッセイゴールドマザーファンド全体の口数は229,860千口です。

投資信託財産の構成

2024年7月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイゴールドマザーファンド	112,220	98.9
コール・ローン等、その他	1,207	1.1
投資信託財産総額	113,428	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル153.36円です。

(注2) ニッセイゴールドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（232,504千円）の投資信託財産総額（234,549千円）に対する比率は99.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月25日現在)

項目	当期末
(A) 資産	113,428,162円
コール・ローン等	29,903
ニッセイゴールドマザーファンド（評価額）	112,220,687
未収入金	1,177,572
(B) 負債	1,208,325
未払解約金	1,175,885
未払信託報酬	32,352
その他未払費用	88
(C) 純資産総額 (A - B)	112,219,837
元本	110,593,684
次期繰越損益金	1,626,153
(D) 受益権総口数	110,593,684口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,147円

(注) 設定元本額 1,000,000円
 期中追加設定元本額 113,945,024円
 期中一部解約元本額 4,351,340円

損益の状況

当期 (2024年4月30日～2024年7月25日)

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	△ 2,066,772円
売 買 益	46,700
売 買 損	△ 2,113,472
(B) 信託報酬等	△ 32,440
(C) 当期損益金 (A + B)	△ 2,099,212
(D) 追加信託差損益金*	3,725,365
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,725,365)
(E) 合計 (C + D)	1,626,153
次期繰越損益金 (E)	1,626,153
追加信託差損益金	3,725,365
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,725,365)
繰越欠損金	△ 2,099,212

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (B)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (D)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	1,626,153円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	1,626,153円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	147.04円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■ 自社による「為替ヘッジあり」の設定解約状況

当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
		元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	%	
99	-	99	101	80.9	当初設定時における取得

(注) 元本および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

■ 自社による「為替ヘッジなし」の設定解約状況

当期 設定元本	当期 解約元本	当期末残高			取引の理由
		元本	評価額	比率	
百万円	百万円	百万円	百万円	%	
1	-	1	1	0.9	当初設定時における取得

■ 「為替ヘッジなし」の自社の実質保有比率

2024年6月末現在、当ファンドの主要投資対象であるマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に55.1%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（商品）		
信 託 期 間	無期限		
運 用 方 針	ニッセイゴールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、金価格への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。		
	実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	<購入・換金手数料なし> ニッセイゴールドファンド	ニッセイゴールドマザーファンド受益証券	
	ニッセイゴールドマザーファンド	金価格への連動をめざすE T F等	
運 用 方 法	<購入・換金手数料なし> ニッセイゴールドファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイゴールドマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。		

ニッセイゴールドマザーファンド

運用報告書

第 1 期

(計算期間：2024年4月30日～2024年7月25日)

運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

主要運用対象

金価格への連動をめざすETF等

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。

- ・株式への投資割合には、制限を設けません。
- ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

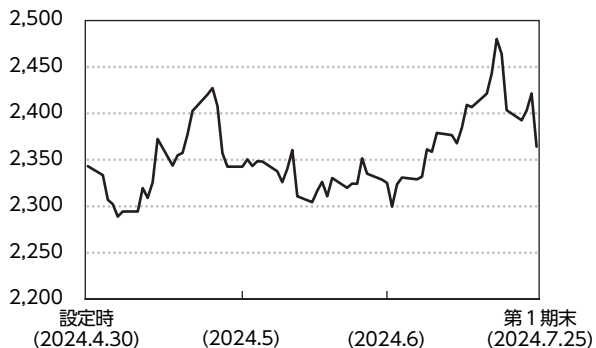
運用経過

2024年4月30日～2024年7月25日

投資環境

金市況

【金価格（米ドルベース）の推移】



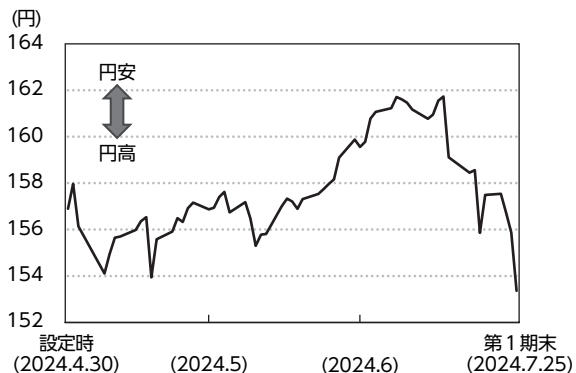
(注) 金価格（米ドルベース）はLBMA Gold Price PM USDであり、ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

金価格は期を通じて見ると上昇しました。

5月初から中旬にかけては米国の利下げ期待を背景に米ドル安となったことから、金価格は上昇しましたが、期半ばは米雇用統計等の経済指標が市場予想を上回る結果となり、米国の早期利下げ期待が後退したため下落に転じました。当期末にかけては、中国が金保有の積み増しを控えるとの報道や米連邦準備制度理事会（FRB）議長の利下げに慎重な姿勢により一時下落しましたが、米CPIが予想外に下落したことや米金利の低下、加えて米ドル安進行で再び米国の利下げ期待が高まったことから金価格は上昇しました。

為替市況

【米ドル／円レートの推移】

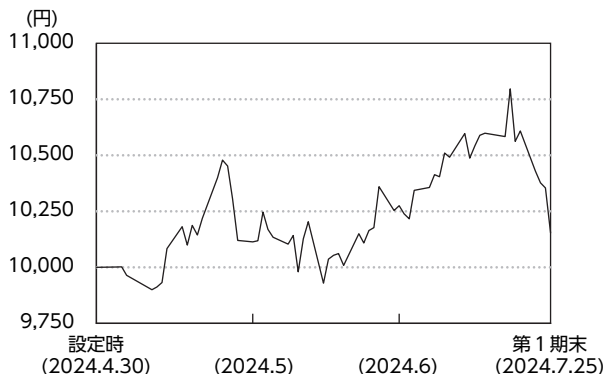


(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

当期の米ドル／円レートは米ドル安円高となりました。

設定直後は政府・日銀の為替介入とみられる円買いの動きにより、米ドル安円高が進みました。期半ばは日銀が金融政策決定会合で利上げを実施しなかったことを受け、日米金利差の拡大した状態が継続するとの見方から米ドル高円安基調で推移しました。当期末にかけては米CPIが予想外に下落し、米国の利下げ期待が高まったことから日米金利差の縮小が意識され、米ドル安円高が進みました。

基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 4月の米CPIの上昇率が前月比で鈍化し、米国の利下げ期待が高まったことから5月に金価格が上昇したこと
- ・ 日銀が金融政策決定会合で利上げを実施しなかったことや国債買い入れ額の減額幅の決定を先送りしたため、日米金利差の拡大した状態が継続することの期待感から6月に円安が進んだこと

<下落要因>

- ・ 5月の米雇用統計が市場予想を大きく上回り、米国の利下げ期待が後退したことを受けて6月に金価格が下落したこと
- ・ 6月の米CPIが前月比で予想外に下落し、米国の利下げ期待が高まったことから日米金利差の縮小が意識され、7月に円高が進んだこと

ポートフォリオ

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは金価格への連動をめざすETF等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

金価格への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中	投資信託証券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2024年4月30日	10,000	—	—	100
1期(2024年7月25日)	10,153	1.5	96.3	233

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
	円	%	%
(設定日)2024年4月30日	10,000	—	—
5月末	10,134	1.3	97.7
6月末	10,343	3.4	97.9
(期 末)2024年7月25日	10,153	1.5	96.3

(注) 騰落率は設定日比です。

1 万口当たりの費用明細

2024年4月30日～2024年7月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資信託証券)	10円 (10)	0.100% (0.100)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用 (その他)	1 (1)	0.005 (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 ・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	11	0.105	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,249円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年4月30日～2024年7月25日

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外 (アメリカ)	千口	千米ドル	千口	千米ドル
国 SPDR GOLD MINISHARES TRUST	30	1,429	—	—

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

組入有価証券明細表

2024年7月25日現在

外国 (外貨建) 投資信託証券

銘柄	口数	当期末	
		評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千米ドル	千円
SPDR GOLD MINISHARES TRUST	30	1,465	224,678
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	30 1	1,465 — <96.3%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率です。

(注3) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

投資信託財産の構成

2024年7月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託証券	224,678	95.8
コール・ローン等、その他	9,871	4.2
投資信託財産総額	234,549	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお7月25日における邦貨換算レートは、1米ドル153.36円です。

(注2) 外貨建純資産 (232,504千円) の投資信託財産総額 (234,549千円) に対する比率は99.1%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイゴールドマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月25日現在)

項目	当期末
(A)資産	255,049,848円
コーポレート債	9,870,230
投資信託証券(評価額)	224,678,562
未収入金	20,501,056
(B)負債	21,680,937
未払金	20,500,000
未払解約金	1,180,937
(C)純資産総額(A - B)	233,368,911
元本	229,860,525
次期繰越損益金	3,508,386
(D)受益権総口数	229,860,525口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,153円

- (注1) 設定元本額 100,000,000円
 期中追加設定元本額 141,811,019円
 期中一部解約元本額 11,950,494円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 <購入・換金手数料なし>ニッセイゴールドファンド
 (為替ヘッジあり) 119,330,940円
 <購入・換金手数料なし>ニッセイゴールドファンド
 (為替ヘッジなし) 110,529,585円

損益の状況

当期 (2024年4月30日～2024年7月25日)

項目	当期
(A)配当等収益	33,361円
受取利息	33,361
(B)有価証券売買損益	△ 727,680
売買益	5,385,794
売買損	△ 6,113,474
(C)信託報酬等	△ 7,700
(D)当期損益金(A + B + C)	△ 702,019
(E)追加信託差損益金	4,571,795
(F)解約差損益金	△ 361,390
(G)合計(D + E + F)	3,508,386
次期繰越損益金(G)	3,508,386

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。